

平成30年7月18日
東部農林振興センター松江農業普及部安来支所

標 題	比田地区の夏秋イチゴ栽培が2年目となり地域を盛り上げています
-----	--------------------------------

(ダイジェスト)

安来市広瀬町比田地区の夏秋イチゴ栽培が2年目となり順調に収穫を続けています。

このイチゴ栽培が契機となり、同地区の地域振興組織「(株)え〜ひだカンパニー」が主催するサマーフェスタが行われ、イチゴ摘み取り体験や地元産のイチゴ、小麦、野菜類を使った美味しい味覚で賑わいました。

標高350mの中山間に位置する安来市広瀬町比田地区の「かみさこ農園」では、夏の冷涼な気候を利用し昨年より夏秋イチゴ栽培を行っています。栽培方式は高設栽培で、品種は四季なり性の「すずあかね」を採用しています。昨年に比べて今年は生育旺盛で、6月上旬から順調に出荷が始まり、主に安来、松江市内のケーキ店に出荷されています。

この夏秋イチゴ栽培をきっかけに、同地区の地域振興組織「(株)え〜ひだカンパニー」が主催する「サマーフェスタ」が今年も7月15日に行われました。

今回の目玉企画となるイチゴの収穫体験は、用意されたパックにこぼれるほど摘み取った子供連れで賑わいました。また、試作を重ねて開発したイチゴスムージー、かき氷はこの日の暑さを和らげました。

このほか、比田産の小麦、野菜による石窯ピザや小麦パン、トマトカレーなどもあり販売に協力した小中学生ともども比田づくしの賑やかな祭りとなりました。

安来支所では、この時期の最重要害虫のスリップス対策や切れ目のない出荷対策等を指導し、平場の冬春イチゴと併せ安来地区でのイチゴ周年栽培体制をバックアップしていくことにしています。

